

子どもを水の事故から防ごう

「暑さ寒さも彼岸まで」とは言うものの、まだまだ暑い日が続きます。子どもたちも、涼を求めてプールや水辺で遊びがちになります。でもちょっと油断をすると重大な事故になりかねません。昨年は岩手県内で4件の水の事故が発生し、4人の子どもが亡くなっています。大切な子どもの命を守るため、安全な水遊びのルールを決めましょう。



基本的ルール

- (1) 子どもだけでは水辺で遊ばせない
- (2) 子どもを自分の視界から離さない
- (3) 通学路や自宅周辺の安全確認をする
- (4) 用水路は危険。近づかないよう注意する
- (5) 危険な場所で遊んでいる子どもを見たときは、「危険な理由」を教え、安全な場所で遊ばせる



「愛の一声運動」継続中

声かけは非行防止の第一歩！

7月、8月は「青少年の非行・被害防止県民運動」期間です。これに合わせて岩手県では「愛の一声運動」を実施しています。

当センターでは、通年で「愛の一声運動」を実施しており、4月から7月までで、1,792人に声掛けしています。

ご家庭内や地域でも家庭・地域の子どもを健全に育てるために意識して「おはようございます」「いってらっしゃい」「気を付けて帰ってね」「お帰りなさい」「こんにちは」等、積極的に声掛けをしましょう。



ストップ！ネット犯罪

子ども達が狙われている！

- ・コミュニティサイトで知り合った男に脅され自画撮り画像を送信(男女ともに)
 - ・サイトでの危険な出会い
(サイトで知り合った男に脅され男子も被害)
 - ・ゲーム機を通して知り合った女性(男のなりすまし)から要求され自分の裸の画像を送信等々、ネットを通じて子どもたちを犯罪に巻き込む悪質な犯罪が増加しています。
- フィルタリングを徹底するとともに、家庭内のルールを確立しましょう。



北上市少年センター悩み相談室

当センターでは、少年少女の悩み相談(本人、家族等)を行っています。

悩んでいないで相談してみませんか。

電話 **0197(72)8302**

相談時間 月～金 9:00～17:00

場所 北上市大通り一丁目
3番1号

おでんせプラザぐろーぶ3階
北上市少年センター

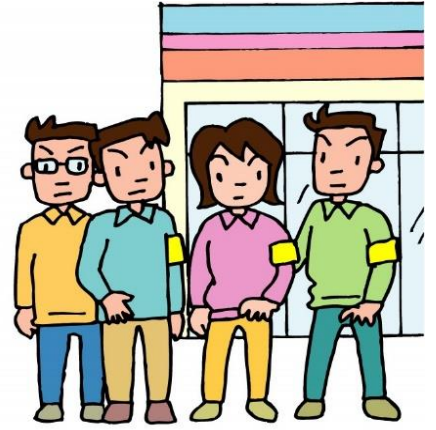


夏休み中の少年を非行や犯罪被害から守ろう

夏休みもあと僅かですが、休み期間中、子どもの生活リズムが乱れがちになっていませんか。

夜更かしによって睡眠不足になり体調を崩したり、また、心の健康も損ないやすくなります。

さらには、開放的な雰囲気から飲酒・喫煙・深夜はいかいや性被害、連れ去りなどのトラブルに巻き込まれる危険が増加します。



少年を犯罪被害から守るため、保護者の皆さんは、子どもが外出する際、

「誰とどこに行くか」

「何時に帰るか」

などを聞き、帰宅時間等のルールを決めておきましょう。

岩手県少年センター連絡協議会・職員研修会の開催

7月21日(火)、北上市生涯学習センターで岩手県内の各少年センター職員による研修会を開催しました。午前部の部では、北上警察署の後藤秀樹生活安全課長から「少年非行犯罪の現状と対策」と題しての講話をいただき、少年非行の防止対策の重要性を学ぶことができました。

午後の部では、県内で新型コロナウイルス感染症が発生した場合の補導活動時の対策や、少年補導員の後継者育成方策を中心に活発な議論が行われ、日本の将来を担う若者の健全育成のため、各少年センターで連携を取りながら街頭補導活動を力強く推進していくことを確認しました。



補導日誌

7月8日

帰帆場公園で午前授業の4、5年生がザリガニ採りをしていた。しっかりと挨拶して会話する。

気をつけて帰るよう声がけした。

さくら野百貨店では、ゲームコーナーに、高校生男子4人、女子6人。プリクラやスマホで遊んでいた。挨拶するときちゃんと応じた。

7月12日

帰帆場公園にビールの空き缶数本入りのゴミ袋が放置されていた。

お宮通りや駅西口駐輪場で部活帰りの高校生数名に声がけした。

7月14日

雨天のため、街に人影は多くなかった。逆にさくら野百貨店のゲームコーナーは混雑していた。

お店の人に挨拶して一周したが、特に問題はなかった。

今日は、諏訪神社の祭りだったので、境内に入ってみたが、例年に比べると雨天のせい、人も少なく混雑もなかった。

7月27日

天候が悪いせい、子どもの姿はほとんど見られなかった。(自転車に乗った女子児童が3人いた程度)

事前にクマ出没情報を得ていたため、該当地区を重点的に見回った。